

NPO 法人才の木トークカフェ

# 森林の放射能汚染 ～現状と今後の課題について考える～

本年7月に閣議決定された「森林・林業基本計画」は、木材自給率50%を目指す「森林・林業再生プラン」の実現への大きな一歩となることが期待されます。また、同法には、東日本大震災への対応として、住宅等の再建に必要な木材の安定供給や木質バイオマス資源の活用により、環境負荷の少ない新しいまちづくりへの貢献が謳われています。このような国産材の利用推進の動きに横たわる問題として、森林の放射能汚染がクローズアップされつつあります。才の木トークカフェでは、スピーカーから森林の放射能汚染の現状と木材利用に関する今後の課題について話題を提供いただきます。森林の放射能汚染の実態を、風評に惑わされることなくデータに基づき正しく知ると共に、国産材の利用推進に向けて可能な方策を考えます。

日 時：平成23年11月25日（金）13:30～17:00

場 所：東京大学弥生講堂アネックスセイホクギャラリー

主 催：認定 NPO 法人才の木

会 費：無 料 ※一般参加歓迎

申込方法：必要事項を記入した参加申込書をファクスまたは郵送にて、NPO 法人才の木宛にお送りください。

[申込先] 〒113-0023 東京都文京区向丘1丁目1-17 タカサキヤビル4階 FAX：03-3813-1567

e-mail：info@sainoki.org ホームページ <http://www.sainoki.org/>

話題提供者

恩田裕一 筑波大学教授  
森林および土壌の放射能汚染と移行の実態  
木平英一 (株)DLDBイオマスエネルギー事業部統括  
元名古屋大学環境学研究科准教授  
薪ストーブと薪の放射能問題 ―現実と課題―

話題提供者より45-60分程度の話題提供、その後、カフェトークを行います。  
本音で語り合う討論を通して、間伐材利用に関する皆様の疑問にお答えします。  
==== 以下のような、疑問をお持ちの方、ふるってご参加下さい ====

- ・森林に放射能ってどのくらいあるの？
- ・放射能汚染された木材は使えるの？
- ・木質バイオマスという言葉をよく耳にするが、木材とどう違うの？
- ・木を伐って使ったら、二酸化炭素を排出することになるのでは？
- ・直径30センチ以上の太い材まで間伐材って呼ぶなんてどこか変じゃない？
- ・LCAという言葉をよく耳にするが、エコとどう関係するの？
- ・林地残材って何のこと？
- ・農水省も経産省も環境省もバイオエネルギー生産技術開発のための補助金を出しているが、どうして一本化できないの？
- ・日本では木が余っているのになぜ輸入しているの？

NPO 法人才の木トークカフェ 参加申込書

平成23年 月 日

参加数／氏名： 名／

連絡先（勤務先）：

e-mail：

電話：

Fax：